



平成22年11月16日

平成22年度東京消防庁総合震災消防訓練の実施について（詳細）

ー平成22年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練と同時開催ー

東京消防庁では、東京直下の地震発生を想定した実戦的な部隊運用及び消防活動能力の向上を図るため、管下全消防署において、全消防職員1万8千人及び特別区、多摩地域の消防団員を動員した大規模な総合震災消防訓練を下記のとおり実施します。

また、今回は、大規模災害時に県域を越えて消防の応援等を行うことを任務とする「緊急消防援助隊」の関東ブロック合同訓練も実施し、全参加隊480隊、2,048人のうち当庁からは、306隊、1,307人が参加する当庁で初めての受援対応訓練や昼夜に及ぶ長時間訓練等を行い、緊急消防援助隊相互の連携活動能力の向上を図ります。

なお、本訓練は、訓練参加部隊に当日の訓練会場・訓練内容等を一部明らかにしないブラインド型訓練とし、より実災害を想定した訓練を行います。

記

1 実施日時

平成22年11月20日（土）8時30分から21日（日）8時30分まで

2 実施場所

東京消防庁管下全域

3 訓練想定

平成22年11月20日（土）8時30分、東京湾北部を震源とする地震が発生した。地震の規模はマグニチュード6.9、東京都内では震度6強を観測した。

この地震で東京都内は、建物倒壊、道路損壊及び火災等により負傷者が発生し、甚大な被害となっている。

このため、東京都知事は消防組織法第44条に基づき消防庁長官に対して緊急消防援助隊の派遣を要請した。これを受けた消防庁長官は関東ブロック9県の知事に対して緊急消防援助隊の出動を求めた。

4 訓練の重点

- (1) 非常招集命令伝達訓練
- (2) 初動措置訓練
- (3) 情報収集訓練
- (4) 通信運用訓練
- (5) 警防本部等運営訓練
- (6) 部隊編成訓練
- (7) 部隊運用訓練、火災現場活動訓練及び救助・救急活動訓練
- (8) 長期活動体制確保訓練
- (9) 緊急消防援助隊に対する受援対応訓練

5 取材対応が可能な訓練会場

- (1) サブ会場・東京タワー（別紙1参照） 9時00分から10時30分まで
訓練に伴う報道機関向け事前レクチャーを8時40分から行います。報道機関は、訓練会場の現場救護所前に8時30分までに集合してください。
- (2) 特別区会場・晴海ふ頭周辺（別紙2参照） 13時00分から14時00分まで
訓練に伴う報道機関向け事前レクチャーを12時40分から行います。報道機関は、訓練会場の来賓テント横に12時30分までに集合してください。
- (3) 特別区会場・晴海ふ頭周辺（別紙2参照） 19時00分から20時00分まで
訓練に伴う報道機関向け事前レクチャーを18時40分から行います。報道機関は、訓練会場の来賓テント横に18時30分までに集合してください。

問い合わせ先

〔東京消防庁 電話 3212-2111〕
〔広報課報道係 内線 2345～2350〕

平成 22 年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練
サブ会場（東京タワー）

訓練項目	超高層建物救出訓練	
想定	東京湾北部を震源とする首都直下型の地震（震度 6 強）が発生し、東京タワーにおいて、エレベーターが緊急停止するとともに、地震の揺れにより転倒した負傷者が大展望台で多数発生したものの。	
訓練参加隊	① 東京タワー自衛消防隊 6名 ② 署隊本部運用隊（芝消防団含む） 8隊 38名 ③ 方面運用隊（第一方面） 4隊 20名 ④ 緊急消防援助隊（神奈川県隊） 6隊 23名 ⑤ 災害時支援ボランティア 約10名 ⑥ ※緊急消防援助隊（指揮支援隊） 1隊 6名 計 103名	
	※⑥指揮支援隊は芝消防署にて訓練現場の指揮支援活動を実施します。	



大展望台
地震による転倒で多数の傷病者が発生

東京タワーフットタウン
建物内に落下物、転倒による傷病者が発生



駐車エリア
報道関係者の駐車位置については、地下駐車場（有料）になります。矢印のルートで敷地内に入ってください、係員の誘導に従ってください。

訓練エリア

◎ 訓練時系列

時 間	内 容
8時30分	地震発生
8時31分	自衛消防隊 活動開始
8時40分	芝署隊先着隊出場 (報道機関向け事前レクチャー実施・部署図参照)
8時46分	指揮本部 屋上進入・救出開始
8時54分	消防団出場
9時00分	(報道機関取材開始)
9時05分	方面応援隊到着
9時10分	災害時支援ボランティア 現場到着
9時15分	歩行不能者搬送開始
9時20分	警防本部(緊急消防援助隊) 応援要請
9時30分	余震発生
9時35分	活動再開
9時45分	緊急消防援助隊 到着
10時10分	緊急消防援助隊 救出開始
10時19分	全要救助者救出完了
10時20分	訓練終了
10時25分	講評



平成 22 年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練
サブ会場（東京タワー）

訓練項目	超高層建物救出訓練	
想定	東京湾北部を震源とする首都直下型の地震（震度 6 強）が発生し、東京タワーにおいて、エレベーターが緊急停止するとともに、地震の揺れにより転倒した負傷者が大展望台で多数発生したものの。	
訓練参加隊	① 東京タワー自衛消防隊 6名 ② 署隊本部運用隊（芝消防団含む） 8隊 38名 ③ 方面運用隊（第一方面） 4隊 20名 ④ 緊急消防援助隊（神奈川県隊） 6隊 23名 ⑤ 災害時支援ボランティア 約10名 ⑥ ※緊急消防援助隊（指揮支援隊） 1隊 6名 計 103名	
	※⑥指揮支援隊は芝消防署にて訓練現場の指揮支援活動を実施します。	



大展望台
地震による転倒で多数の傷病者が発生

東京タワーフットタウン
建物内に落下物、転倒による傷病者が発生



駐車エリア
報道関係者の駐車位置については、地下駐車場（有料）になります。矢印のルートで敷地内に入ってください、係員の誘導に従ってください。

訓練エリア

◎ 訓練時系列

時 間	内 容
8時30分	地震発生
8時31分	自衛消防隊 活動開始
8時40分	芝署隊先着隊出場 (報道機関向け事前レクチャー実施・部署図参照)
8時46分	指揮本部 屋上進入・救出開始
8時54分	消防団出場
9時00分	(報道機関取材開始)
9時05分	方面応援隊到着
9時10分	災害時支援ボランティア 現場到着
9時15分	歩行不能者搬送開始
9時20分	警防本部(緊急消防援助隊) 応援要請
9時30分	余震発生
9時35分	活動再開
9時45分	緊急消防援助隊 到着
10時10分	緊急消防援助隊 救出開始
10時19分	全要救助者救出完了
10時20分	訓練終了
10時25分	講評

